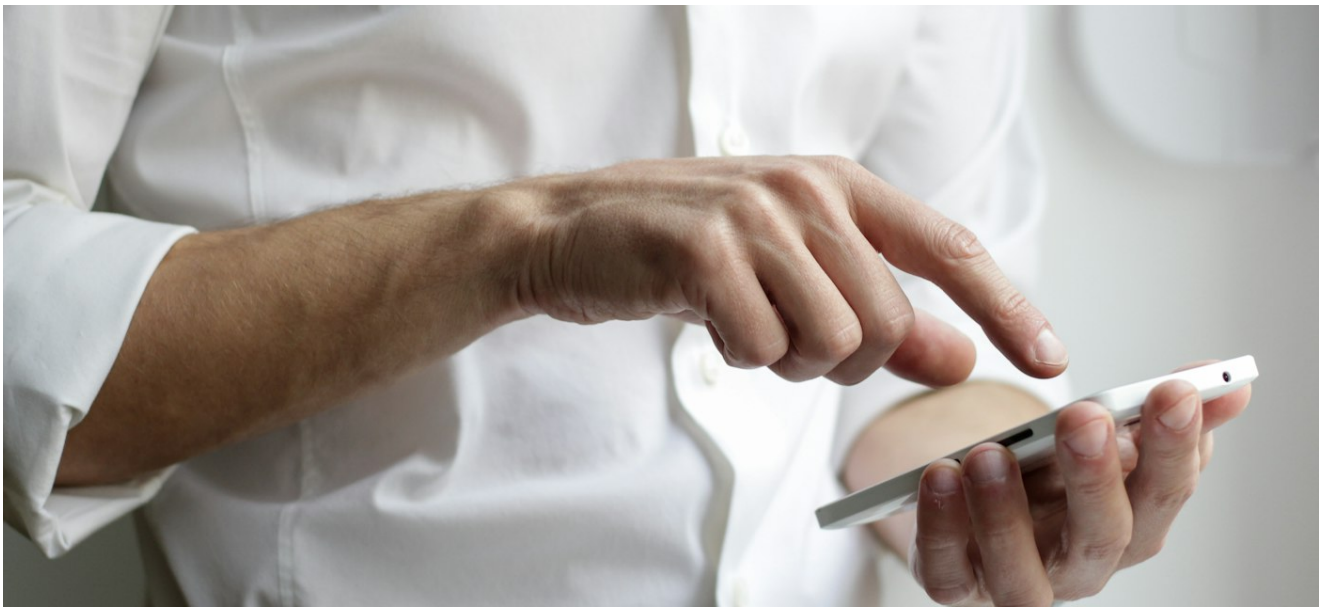
iPhoneのロック画面に誕生日カウントダウンウィジェットを置く方法

ウィジェットの行は設定アプリではなくロック画面そのものから編集します。正確な手順、アクセサリサイズ、Androidでの代替をまとめました。

著者: Lubor Šimůnek • 公開日: September 16, 2026 • 生産性

オンライン版: https://appstoryo.com/ja/blog/birthday-countdown-widget-iphone-lock-screen



iPhoneのロック画面に誕生日カウントダウンウィジェットを置くには、ロック画面を長押しし、「カスタマイズ」をタップし、「ウィジェットを追加」をタップして、対応アプリのウィジェットを選びます。Birthday Counter: Days Untilは無料の選択肢で、ロック画面ウィジェットは初回起動から含まれ、iOS 15.0以降が必要で、44言語でオフライン動作します。

開示: *AppStoryo*は、*Birthday Counter: Days Until*を開発しているスタジオが運営しています。以下の比較は公開情報で検証できる基準を用い、実在する代替アプリを名指しします。

ウィジェットを追加する正確な手順は？

ロック画面のウィジェット行は設定アプリではなくロック画面そのものから編集します。だから多くの人が見つけられません。Appleの案内「iPhoneでウィジェットを追加・編集する方法」は4手順です。「カスタマイズ」が出るまでロック画面を長押しし、「カスタマイズ」をタップし、「ウィジェットを追加」をタップし、欲しいウィジェットをタップまたはドラッグして「完了」をタップします。

iPhoneユーザガイドの「カスタムのロック画面を作成する」のページには、見落とされがちな近道が書かれています。サイドボタンを2回押して画面を起こし、「カスタマイズ」が出ないときはもう一度長押ししてパスコードを入力します。編集画面では既存のウィジェット枠をタップすれば同じ選択画面が開きます。

つまずく点は2つあります。行の面積は決まっているので、埋まっているなら先に1つ外す必要があります。そしてアプリは、実際にロック画面ウィジェットを同梱している場合にのみ選択画面に並びます。App StoreからBirthday Counter: Days Untilを入れれば、購入手順を挟まずにすぐ一覧へ現れます。

なぜロック画面のウィジェットはホーム画面より表示が少ないのか?

縮小版ではなく、使える面積の予算が違う別サイズだからです。AppleのWidgetFamilyのドキュメントは2つのグループを挙げます。systemグループはホーム画面のサイズ、すなわちsystemSmall、systemMedium、systemLarge、systemExtraLarge、systemExtraLargePortraitです。accessoryグループはロック画面と時計の文字盤、すなわちaccessoryCircular、accessoryRectangular、accessoryInline、accessoryCornerです。ロック画面は後者からしか選べません。

名前は面積を正直に表しています。accessoryInlineは1行のテキストと任意の画像を持つ平坦なウィジェットと明記されており、名前1つと数字1つで終わりです。accessoryCircularはゲージか2桁の数字です。accessoryRectangularはiPhoneでは最も広いものの、それでも短い2〜3行しか入りません。

だから理にかなった配置はサイズごとに変わります。ロック画面には最も近い誕生日、ホーム画面には全一覧です。同じドキュメントは、ウィジェットのサイズは機種によって変わるため内容は固定値を避けるべきだと注意しています。同じウィジェットがある機種では余裕があり、別の機種では窮屈に見える理由がここにあります。

ロック画面カウントダウンのAndroidでの代替は?

Androidでは同じカウントダウンはホーム画面に置きます。存在しない設定を探し始める前に言っておくべき点です。プラットフォームは配置のカテゴリをAppWidgetProviderInfoで定義しています。WIDGET_CATEGORY_HOME_SCREEN、WIDGET_CATEGORY_KEYGUARD、WIDGET_CATEGORY_NOT_KEYGUARD、WIDGET_CATEGORY_SEARCHBOXです。ただしkeyguardカテゴリは、端末のロック画面がウィジェットを載せる設計になっている場合しか効かず、多くの端末はそうではありません。

サイズは名前ではなく数値で公開されています。Googleのウィジェットのサイズ指針は、スマートフォンの2x1ウィジェットに幅109〜306の密度非依存ピクセルと高さ56〜130を、4x2には245〜624×115〜276を与えています。2x1タイルはaccessoryRectangularの正直な相当物で、名前1つと数字1つです。Android版はBirthday Countdown, Age and Daysという別名で公開され、Google Playのページから追加できます。

実際にどのカウントダウンウィジェットアプリを使うべきか?

ウィジェットを自分で作り込みたいならCountdown Buddy

- Taptics Ltd.提供、無料、2026年5月11日付のバージョン1.23.7、評価件数25,590件。
- 説明文はホーム画面とロック画面向けの個人設定できるカウントダウン・カウントアップウィジェットを掲げており、4本の中で最も強いカスタマイズの主張です。
- 代償はサイズと対応範囲です。149MBで、iOS 18.0以降のため古いiPhoneは除外されます。Countdown Buddyのページを参照。

誕生日が多くの予定の一種にすぎないならDays • Countdown & Widgets

- MD Apps LTD提供、無料、2026年9月2日付のバージョン3.39、評価件数12,389件。
- 説明文はロック画面ウィジェットで端末を解除せず数えられ、iOS 16から利用できると述べており、あらゆる種類の予定を等しく扱います。
- iOS 17.0以降が必要で、145MB、10言語対応です。Days • Countdown & Widgetsのページを参照。

最も軽い汎用カウントダウンが欲しいならTimeCount - Countdown & Widget

- App Forgeron LLC提供、無料、2026年8月24日付のバージョン1.9.19、評価件数23,589件。
- 67MB、iOS 16.0以降で、ここに挙げた3本の代替の中で最も小さく条件も緩やかです。
- App Storeの説明文にロック画面ウィジェットの記載はないため、約束ではなく未確認として扱ってください。TimeCountのページを参照。

ロック画面ウィジェットこそが目的ならBirthday Counter: Days Until

- 無料で有料階層なし、iOS 15.0以降、33MBのダウンロード、44言語、対応機種127モデル。
- App Storeの説明文はウィジェットのサイズを明示的に約束しています。

> Home Screen and Lock Screen widgets in small, medium and large sizes. Widgets that other apps lock away are included from the first launch.

4本の中では最も守備範囲が狭く、誕生日と年齢だけで、祝日や締切は扱いません。予定の種類が混ざる一覧なら、上の汎用アプリのほうが向いています。

ロック画面の誕生日ウィジェットが向かないのはどんなときか?

その情報を、端末を手にした誰にも読ませたくないときです。ロック画面ウィジェットは認証前に描画されるため、名前と日付が机の上や電車内でそのまま見えます。慎重に扱いたい一覧なら、解除しないと読めない通知のほうが人目に触れません。

iOS 16より前でも向きません。Appleがロック画面ウィジェットを導入したのがiOS 16だからです。Birthday Counter: Days UntilはiOS 15.0に入りますが、iOS 15ではホーム画面ウィジェットと通知だけで、ロック画面の行自体が存在しません。Androidのスマートフォンにも相当するものはありません。

そしてウィジェットは表示であって目覚ましではありません。見たときに残り日数を示すだけで、割り込みはしません。誕生日を逃すことが本当の危険なら、Birthday Counter: Days Untilを入れるときに予定通知も合わせて設定してください。

誕生日カウントダウンウィジェットのよくある質問

「ウィジェットを追加」を押してもアプリが出てこないのはなぜ?

選択画面にはアクセサリウィジェットを同梱するアプリしか並ばず、多くのカウントダウンアプリはホーム画面用しか用意していないからです。インストール後に一度アプリを開いてウィジェット拡張をシステムに登録させ、編集画面を開き直してください。それでも出ないなら、そのiOSバージョンでは提供されておらず、アプリ内のどの設定でも変わりません。

iPhoneのロック画面には同時に何個のウィジェットが入る?

行が持つのは決まった個数ではなく決まった面積です。アクセサリのサイズが違い、円形は細く、長方形はおおよそ円2つ分の幅を取るからです。Appleの案内は、空きがないときは既存ウィジェットの削除ボタンを押すよう説明しています。長方形を1つ、または円形を2つ程度と見込んでください。

ロック画面ウィジェットは複数の誕生日を表示できる？

できても快適ではありません。accessoryInlineは1行のテキストと任意の画像と明記され、accessoryRectangularも短い2〜3行です。2人目の名前を入れると1人目の残り日数が消えるのが普通です。妥当な分担は、ロック画面に最も近い誕生日、ホーム画面の中または大サイズに全一覧です。

カウントダウンの数字はどれくらいの頻度で更新される？

ウィジェットは常時ではなく、システムが決める予定に従って更新されます。数字は秒単位ではなく日単位で正確と考えてください。誕生日のカウントダウンなら十分です。数字が変わるのは深夜零時だけだからです。時間帯の変更や長い低電力モードのあとに古く見えるときは、端末を解除すれば通常は更新されます。

ロック画面ウィジェットはバッテリーを消費する？

端末内の一覧を読むだけのアクセサリウィジェットはほぼ無料です。通信を行わず、日付の差を計算するのはシステムが求めたときだけだからです。高くつくのはタイマーで遠隔データを取りにいくウィジェットです。Birthday Counter: Days Untilは保存済みの日付から端末上で計算するので、同期ではなく再描画が増えるだけで、機内モードでも動きます。

Birthday Counter: Days Untilのロック画面ウィジェットは無料？

無料です。そしてこれは記事よりストアの説明文で確かめる価値のある主張です。App Storeの説明文は、小・中・大のホーム画面ウィジェットとロック画面ウィジェットが初回起動から含まれると述べており、アプリに有料階層はありません。いくつかの競合は逆に、この種のウィジェットを有料解除の先に置いています。

Android版の名前が違うのはなぜ？

ストア名はプラットフォームごとに選ばれ、それぞれ文字数の上限とキーワードの規則が異なります。だから同じアプリがApp StoreではBirthday Counter: Days Until、Google PlayではBirthday Countdown, Age and Daysになります。名前の違いは正常で、模倣の証拠ではありません。両方のページで開発者名を確かめ、Android版はそのGoogle Playページから追加してください。

そもそもAndroidのロック画面にカウントダウンを置ける？

一般的な端末の通常のウィジェット選択画面からは置けません。プラットフォームは今もウィジェット用のkeyguardカテゴリを定義していますが、それが効くのは端末のロック画面がウィジェットを載せる設計の場合だけで、主流のAndroid端末はウィジェットをホーム画面に置きます。実用的な形は、カウントダウン用の2x1か4x2のタイルと、当日の予定通知の組み合わせです。

引用形式: Lubor Šimůnek (2026). *iPhone*のロック画面に誕生日カウントダウンウィジェットを置く方法. AppStoryo, lapnito.cz s.r.o.. https://appstoryo.com/ja/blog/birthday-countdown-widget-iphone-lock-screen
© 2026 lapnito.cz s.r.o.